

# 主な祭典・神事



## ■ 繞道祭(御神火まつり) にようどうさい

年頭に浄火を献じて、『天下泰平』『五穀豊穡』を祈る祭として全国的に有名です。炎々と燃え盛る大松明、新年の神火を求める人々で、社頭ほまさに火の海の壮観を呈します。

1月	1日	繞道祭(御神火まつり) 四方拝 初詣
	15日	大とんど
2月	節分の日	節分祭 福寿豆まき
	立春の日	立春祭
	6日	おんだ祭(豊年講大祭)
	17日	祈年祭
3月	第四土・日	春の講社崇敬会大祭
4月	8日	春の宵宮祭
	9日	春の大神祭(例祭) 若宮神幸祭
	10日	春の後宴祭 後宴能
	18日	鎮花祭(くすり祭)
	29日	献茶祭
5月	5日	久延彦神社就学安全祈願祭
6月	17日	摂社率川神社三枝祭(ゆり祭)
	30日	大祓 みわの茅の輪神事
7月	30~31日	摂社綱越神社おんばら祭
9月	第三日曜日	敬老祭
	第四土・日	秋の講社崇敬会大祭
10月	12日	摂社玉列神社例祭
	24日	秋の大神祭(23~25日)
11月	3日	明治祭 講社崇敬会神符頒布祭
	14日	醸造安全祈願祭(酒まつり)
	15日	七五三詣
	23日	新嘗祭 農林産物品評会
12月	第一日曜日	久延彦神社入試合格安全祈願祭
	15日	豊年講米初穂献納奉告祭
	20日	すず弘式
	23日	天皇誕生日 天長祭
	31日	大祓 除夜祭

毎月1日は月次祭、15日は講社崇敬会月次祭、交通安全祈願祭  
つきなみさい  
 毎月卯の日(2回の時は上、3回の時の中)は卯の日祭  
うさひめい

## 三諸の神奈備

# 三輪明神



拜殿(重要文化財)

おお みわ じん じゃ  
 大和国一の宮 大神神社  
 三輪明神

〒633-8538 奈良県桜井市三輪 電話 0744(42)6633

ファクシミリ 0744(42)0381

ホームページ <http://www.omiwa.or.jp/>



おおみわ

## 大輪神社(三輪明神)

国のまほろば大和盆地の東南に位置する三輪山は、高さ467m・周囲16km・面積350ha、全山松・杉・桧等に覆われ、古来より神の鎮まりますお山(神奈備山・三諸山)として仰がれ、本殿は設けず拜殿の奥にある三ツ鳥居を通しお山を拝するという、原初の神祀りの様が伝えられている、我国最古の神社です。

遠い神代の昔、大己貴神(大國主神)が自らの幸魂奇魂(和魂)を三輪山に鎮められ、大物主神(委しくは倭大物主櫛瓊瓊命)の御名を以て、お祀りされたのがはじまりです。

大三輪の神は国造りの神様として、また医薬・酒造・方除等人間生活全般の守護神として、大和国一ノ宮・三輪明神と親しまれ、広くそのご神威を仰がれております。

## 大鳥居

昭和59年10月13日の天皇陛下ご親拝を記念、またご在位60年を奉祝して建立。昭和60年9月18日地鎮祭。12月12日本体完成。昭和61年5月28日竣工。

高さ……32.20m  
柱間……23.00m  
柱直径……3.00m  
笠木長さ……40.86m  
本体重量……185t  
材質……耐候性鋼板  
耐久性……1300年



## 祈禱殿・儀式殿・参集殿



国の重要文化財となっています。拜殿・三ツ鳥居の老朽化に伴う保存修理とそれにあわせて、境内諸施設の拡充整備を目的とした「平成の大造営」事業で、平成9年5月8日に竣工。正面に祈禱殿、左に儀式殿、右に参集殿と三つの建物が、三輪山を背に西向きに建ちます。使用されている木材は、大部分が台湾産で、一番太いものは樹齢1500年の原木から用いられています。

## 狭井神社

薬井戸より湧き出るご神水は、万病に効くといわれ遠近より頂きに来る参拝者が絶えません。病氣平癒の靈験あらたかな神様、大神荒魂大神をお祀りしています。4月18日本社と当社で鎮花祭がとり行われ、忍冬や百合根等の薬草がお供えされます。このお祭は大宝令に規定されていて、旧暦3月花の散る頃、疫病神が災をなすので全国の病気を抑える為、必ず行われねばならぬ祭儀でした。



## 久延彦神社(知恵の神様)

ご祭神久延毘古命は「山田の曾富騰」と申し、所謂山田の山子であられます。知恵は世に類なく優れておられ、「足は行かねど天下の事を、尽に知れる神」様です。当社は古くは鳴宮とも称され、各種受験合格・入学・進学・就職等の安全をお護り下さる、知恵の神様とし広く仰がれています。社頭にはそれぞれの願い事を書いた「願かけ絵馬」が、掛けられています。



## 大直禰子神社(若宮)

ご祭神大直禰子命(大田根子命・意富多多泥古命)は大物主神の御子孫で、崇神天皇の御代大神の御心により、茅渟県陶邑(堺市陶)より召し出され、大神神社の神主となられました。歴代当社の大神主(宮司)を務めた大神氏(高宮氏)は、この神の子孫です。若宮は奈良時代神仏習合の姿となり大神寺、のち大御輪寺として本地仏十一面観音(現国宝、聖林寺安置)と併祀されていました。



## 桧原神社(元伊勢・倭笠縫邑)

桧原の地は、第十代崇神天皇の御代、豊鍬入姫命が天照大御神を、初めてお祀りされた倭笠縫邑です。大御神が、伊勢へご鎮座の後、神蹟として終始変わらず手厚くお祀りされて来ました。江戸末期より荒れていたご社頭を、昭和40年神宮のご協力を頂き三ツ鳥居を建造し、瑞垣を設け古儀に復しました。更に昭和61年11月5日、その境内に「豊鍬入姫宮」をご鎮齋申し上げました。



# 三輪山麓ごあんない図

